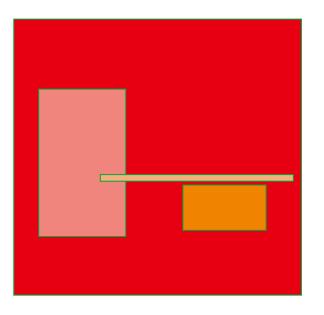
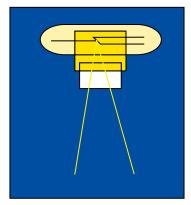
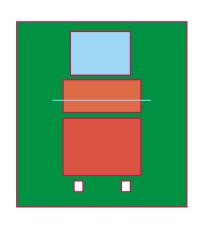
三重県放射線技師会誌

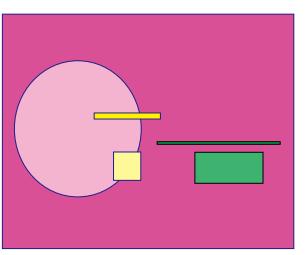
The journal of the Mie

Association of Radiological Technologists









295号 2022.2 vol.72 No.2

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人 日本診療放射線技師会



綱 要

- 1 . わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。 We will render our services to those to need of health care.
- 1 . わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。 We will act as individual members of a health care team
- わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
 We will perform our duties in our field of specialty.
- 1 . わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。 We will continue to study for the benefit of mankind.
- 1 . わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。 We will respect and practice the policy of informed consent.

295号 Vol.72 No.2

CONTNETS

	4
□ お知らせ	6
令和4年度 三重県診療放射線技師会役員選挙	
□ 活動報告	9
レントゲン週間企画報告書	
□議事録	11
令和3年度 第3回 理事会	
令和3年度 第4回 理事会	
令和3年度 第5回 理事会	
令和3年度 第6回 理事会	
□ 編集後記	22

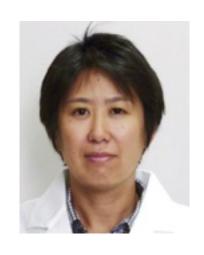
一般社団法人 **三重県診療放射線技師会**

〒514-0032 津市中央2-4 三重ビル 502号

TEL/FAX (059)225-1491 H.P.: https://mieart.jp/ e-mail: contact@mieart.jp 郵便振替 00800-5-15152

郵便振替 00800-5-15152 銀 行 百五銀行津駅前支店 普通預金口座番号 0203779

□ 巻頭言



「新しい成長を目指して」

武藤 結衣 一般社団法人三重県診療放射線技師会 副会長

三重県診療放射線技師会会員の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

巻頭言も早いもので4度目となります。さて、陰陽五行説を基にした60通りの暦では、令和4年の今年の干支は、十干(じっかん)の「壬(みずのえ)」と十二支の「寅」をあわせた「壬寅」です。調べると、「壬」が「五行では水。方位では北。此に至れば陰極まり陽生じて、萬物懐妊す。」とあり、「寅」は、「春の象徴。草木が生ずる、成長、発育、誕生の意」でした。「壬寅」の今年は、厳しい冬に至り、それを越えて、万物が芽吹き始め、新しい成長の礎となる年との意でした。冬が厳しいほど、春の新芽は生命力にあふれ、新しい成長が始まる年になるそうです。

昨年は引き続き、世界は新型コロナウイルスの影響に振り回されました。再三の困難に「前門の虎、後門の狼」と言いたくなるほど、多くの人々が耐え忍ぶ「冬の時期」を強いられる年だったと思われます。本会では、新年をあけても猛威をふるう新型コロナウイルスの影響により、2月に企画していた告示研修を中止と決断せざるを得なくなりました。苦渋の決断でした。しかしこれは皆様の職場、会員や家族の健康など大切な「虎の子」を守ることを優先したものであります。

安心安全な生活の実現と経済活動の両立にむけた「虎の巻」は、今日時点でまだ 見つかってはいないように思われますが、経験を糧に作り上げていくものなので しょう。(虎ダジャレ言いたかっただけ?)

さて、4年前の巻頭言では、95単位制で卒業する技師が2020年3月に誕生します。と述べましたが、次の4年後には102単位制で卒業する技師が生まれます。すなわち今年4月の入学生からは、養成教育において「造影剤を使用した検査等のため、静脈路確保」「造影剤注入装置への造影剤接続」等を指導項目に含んだ授業が始まります。

診療放射線技師の業務も時代とともに変わり、技師会の活動も、技師の持続的安 定のための常なる変化が求められています。具体的には業務改善や効率化、若い会 員の皆様に「何のために技師会があるのか」という理念の承継などが今後の課題と 考えています。

話は変わりますが、仕事柄「どうしたら変化に強い技師が育てられるのでしょう。」「どうしたら率先して自己研鑽する技師を育てられるでしょう」と質問をいただくことがあります。なぜ?と質問の意図をお尋ねすると「次世代のリーダーを育成したいから」と答える方が少なくありません。なるほど、と一言返答したうえで、これまでは答えを濁すことが少なくありませんでした。しかしここで巻頭言として私の意見を述べます。方法(知識)はあります。しかしそれを教えきることは困難です。ではどうすれば?それは、「次世代(若手)にいろいろな決断をさせる機会をどう与えているか。」「育ってほしい相手に率先して研鑽する経験をさせているか。」「変化し、自己研鑽することを職場として支援できているか。」だと考えます。「率先して自己研鑽する技師」や「組織のリーダー」を育てる方法は、次世代が何かを決断する経験を与えているか、次世代がリーダーとなる経験をさせているか、支援を求めやすい環境を作っているか。まずこれだと思います。そのうえで、「何を学ぶか」だと思います。(補足:方法(知識)は、ダメということではないのですが、すでに変化に強い・率先して自己研鑽したい方向けでしょう)

従って技師会としては、この状況下でも会員皆様に研鑽する場を提供することや、研鑽に取り組む会員を支援することがまず重要と考えています。令和3年度の本会の年間テーマは人材育成でしたが、いかがでしたか?セミナーや県技師会学術大会に参加された皆様、何か始めてみたい気持ちになったことはありませんか?会としては、年間テーマは変わりますが、皆さんの「始めたい」「学びたい」の気持ちを行動に移しやすい環境を整えていくことでこれからも貢献できると考えています。

繰り返しになりますが、寅年は成長の礎となる年といわれます。長い冬が続く中でも、新しい春の鼓動は聞こえてきています。私たちが今回経験したそれぞれの「厳しい冬」を糧に、地道に自身を研鑽し、何事にも好奇心を持ち、前向きに取り組んでいきましょう。もともと実力がある方が研鑽を重ね、力を備えた場合には、まさに「虎に翼」になります。

思い描く未来が今よりも明るく、会員皆様と成長を分かち合い笑い合える一年となりますよう。そして来年度には対面研修をはじめとした行事が無事開催されますよう祈念します。

皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

□ お知らせ

令和4年度 三重県診療放射線技師会役員選挙

令和 4年 2月18日

告 示

一般社団法人 三重県診療放射線技師会 選挙管理委員長 久保 雅敬

本会定款第20条に基づき、令和4年度三重県診療放射線技師会役員選挙を下記の とおり行います。

立候補又は候補者を推薦しようとする方は、締切日までに届出を行ってください。

記

1. 役員の定数

理 事 12名以上18名以内 監 事 2名

2. 立候補・推薦候補者届出締切日

令和 4年 3月18日(金) 午後4時

3. 提出書類

立候補届出書(様式第1号)または推薦候補者届出書(様式第2号)

4. 届出書提出先

本会選挙管理委員会(本会事務所内) 〒 514-0032 津市中央 2-4 三重ビル 502 号

5. 届出書提出方法

持参または郵送 (締切日時、必着)

6. 投票日

第72回総会開催日

7. 開票日

第72回総会開催日

理 事

選挙立候補届出書

監 事

フ リ ガ゛ナ					性 別	
候補者氏名					男·女	
住 所(自宅)						
勤務先施設名						
勤務先所在地						
生年月日	年	月	日生(歳)		
技師会会員番号						

上記のとおり立候補の届出をします。

令和 4年 月 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会 選挙管理委員会委員長 久保 雅敬

様

氏 名

印

理 事 選 挙 推 薦 候 補 者 届 出 書 監 事

	フ リ カ゛ ナ		性別
	氏 名		男・女
候	住 所(自宅)		
補	勤務先施設名		
者	勤務先所在地		
	生年月日	年 月 日生(歳)
	技師会会員番号		

上記のとおり推薦します。

令和 4年 月 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

選挙管理委員会委員長 久保 雅敬 様

推薦届出者 氏名 印 技師会会員番号

候補者同意欄	理事	監事	候補者への推薦に同意します。		
			氏名	印	

□ 活動報告

令和3年11月10日

(公社) 日本診療放射線技師会 会長

上田 克彦 様

(一社) 三重県診療放射線技師会 会長

界外 忠之 様

(一社) 三重県診療放射線技師会

副会長 武藤 裕衣

レントゲン週間企画報告書

下記の通りレントゲン週間企画を行いましたので、ご報告申し上げます。

記

- 1. 名 称 レントゲン祭
- 2. 日 時 令和3年11月7日 午後1時 ~ 午後1時15分
- 3. 場 所 ホテルグリーンパーク津
- 4. イベント運営担当者

界外会長、武藤副会長、丹羽業務理事、浅沼業務理事、四竃理事、他役員

- 5. 参加者数 三重県技師会会員 27名、一般 3名(来賓 上田会長含む)、他視聴者
- 6. 詳細報告

令和3年11月7日 午後1時より、ホテルグリーンパーク津にて、レントゲン祭を開催いたしました。当日は、 (一社) 三重県診療放射線技師会創立70周年記念式典を併せて

挙行しました。

本事業は、本会設立70周年記念を迎え、診療放射線技師 X 線を発見されたレントゲン博士の偉大な遺徳をしのび、県技師会として放射線技術の発展と社会への貢献に向け決意を新たにすることを目的として企画開催されました。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、式典の出席者はご来賓の日本診療放射線技師会 上田会長、運営役員の他式典表彰者等に限定し、会員の皆様等には、オンラインで視聴いただきました。

レントゲン祭の内容を紹介します。武藤副会長による式辞に始まり、界外会長がレントゲン博士のご功績を読み上げお祀りいたしました。次いで、界外会長より献花が行われ、最後に参加者全員でレントゲン博士の偉業に対する感謝を込めて黙祷を捧げました。

(一社) 三重県診療放射線技師会は昭和 26 年に 50 余名で設立されて以来、これまで諸先輩方が診療放射線技師の質向上と、会員の交流に力を尽くしてこられました。現在の三重県診療放射線技師会の会員数は、設立当初の 10 倍以上となる 582 人を数え、全国でも有数の会員組織率と伸び率を誇ります。

昨年より、私たちは新型コロナウイルス感染症という世界的な災害を経験し、これまでの常識が激変することを経験しました。また、今年は技師の業務拡大に伴う告示研修もスタートします。 このような激動の現代においてこそ、レントゲン祭の開催は重要な意味を持つと考えます。今後もレントゲン祭を県技師会定期事業として開催できるよう、検討をすすめてまいります。

最後に JART 上田会長をはじめ役員皆様、諸先輩方をはじめとする県役員皆様、会員の皆様、ならびに式典準備に関わっていただきました配信スタッフをはじめとするすべての皆様にあらためて感謝申し上げ、企画報告とさせていただきます。

以上

□ 議事録

令和3年度 第3回 理事会

- 1 開催日時 令和3年8月30日(火)19:00~20:15
- 2 開催場所 Web Zoom
- 3 出席者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、 磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、三好 佳仁、 福田 剛史、四竃 明日香

【監事】中西 左登志、牧 浩昭

4 進行等

定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 13 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、 議事の審議に入った。(難波、途中参加により最終参加理事 14 名)

- 5 議事録作成 磯部 好孝
- 6 議事

【会長報告事項】(資料1)

- (1) 県技師会メール配信サービス vol. 105~115 号を配信した
- (2)令和3年7月5日第1回助成団体Web会議を開催した
- (3)令和3年7月20日会長、副会長Web会議を開催した
- (4) 令和3年7月26日畦元議員が岡波総合病院に来訪された
- (5)令和3年7月27日、8月27日表彰委員会を開催した
- (6)告示研修にむけ三重県のファシリテーターを申請した
- (7)令和3年度公衆衛生事業功労者表彰候補者を推薦した
- ・第2回理事会メール審議にて岡田和正氏を推薦することに決議を得たので県庁へ申請を済ませた。
- (8) 中日本会長会議に参加した
- (9) 令和3年8月19日夏季セミナーを開催した
- (10) 令和3年8月20日70周年記念式典準備委員会を開催した

【決議事項】

- (1)令和3年度新入会員の承認について(資料2)
- ・新入会10名について全会一致にて承認された。
- (2) 表彰及び叙勲等推薦規定の改定について (資料3)
- ・森田業務理事より改定案の説明があった。
- ・全会一致にて承認された。
- (3) 表彰委員会からの推薦について(資料4)
- 推薦者一覧
- <令和4年秋の叙勲候補者>
- 伴野晋司氏
- <JART 関係>
- JART 功労表彰候補者

• 難波一能氏

<70 周年式典関係>

三重県診療放射線技師業務功労者知事表彰候補者

• 浅沼源示氏、石河真人氏

功労表彰候補者

・北林厚生氏、難波一能氏、山田剛氏

特別功労表彰候補者

•田中孝氏、芝山裕紀氏、島岡勝正氏、藤川久元氏、森田不二夫氏、森田昌枝氏、山本幸孝氏、 吉田亘孝氏

<三重県関係>

・公衆衛生事業功労者知事表彰候補者は見送り

<日本病院会・全日本病院協会>

- ・第7回山上の光賞表彰候補者は見送り
- ・表彰者一覧について全会一致にて承認された。

【検討事項】

(1) 助成団体への助成金について

・助成金の使途について規程の改定を行うこととなった。規程案の作成は武藤副会長が担当する。

(2) 告示研修について

・三重県では今年度中に2回の告示研修の実技講習を開催したい。開催可能となれば医師講師、看護師講師の派遣要請の為、県医師会、三重大学放射線科教授、三重県看護協会、鈴鹿医療科学大学、県庁等の関係各所に協力を要請する。

(3)統一講習会の開催について

・以前予定していた統一講習会がコロナの影響で中止になっているためと、告示研修の実技講習申込が 統一講習会修了者に優遇されることから、今年度中に統一講習会を1回開催したいが、コロナ感染の状 況を見て判断する。

(4)県技師会組織改変ワーキンググループの立ち上げについて

・次年度から委員会制度を取り入れた県技師会の組織改変を検討している。組織改変ワーキンググループは会長、副会長のみがメンバーとなって検討する。

(5)第62回東海四県学術大会の開催について

・令和 4 年 2 月開催、実行委員長は山田副会長で開催方法は完全 Web 形式を予定している。大会テーマを早々に決定したいと考えている。企画内容は数題の講演のみとする。

(6)技師長会議の開催について

・今年度中に開催したいと考えている。県内の技師長(部門管理者)に主旨を説明し、連絡網に登録してもらうなどから準備を始める。

(7)令和3年度レントゲン週間事業について

・今年度は 70 周年記念式典と同時に開催することを前提に開催することにした。中日本地域の開催県で JART の補助金を案分するため、すでに開催で申請している。

【継続審議事項】

(1) 70 周年記念式典について

・令和3年11月7日。津グリンパークホテルにて開催。現地とその模様をWeb配信するハイブリット 形式を検討している。

(2) 事務所備品の購入について

・会長、両副会長、浅沼業務理事が8月18日事務所に出向き調査をおこなった。購入に向けて選定中である。

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長・業務理事報告事項】

(1)学術担当:山田副会長

- ・令和3年8月19日夏季セミナーを開催した。参加者は151名であった。
- ・令和3年度学術講演会は令和3年9月30日開催に向けプログラムは配布済、参加登録期間中です。

(2)学術担当: 丹羽業務理事(資料5)

- ・第5回三重県診療放射線技師学術大会について、ホームページでも第一報を掲載中です。
- ・令和3年9月1日から令和3年10月31日まで演題募集中です。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、20 時 15 分に閉会した。 以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和3年8月30日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

令和3年度 第4回 理事会

1 開催日時 令和3年10月26日(火)19時~21時

2 開催場所 Web Zoom

3 出席者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、後藤 末成、三好 佳仁、姫子松 博洋、福田 剛史、太田 茂治、四竃 明日香

【監事】中西 左登志

4 進行等

定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 17 名及び監事 1 名の出席を得たので適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

- 5 議事録作成 磯部 好孝
- 6 議事

【会長報告事項】(資料1)

- (1) 県技師会メール配信サービス vol. 116~124 号を配信した
- (2) 令和3年9月6日三重県看護協会会長と面談した
- (3)令和3年9月6日表彰委員会を開催した
- (4)令和3年9月10日女性部会会議に参加した
- (5) 令和3年9月30日三重県診療放射線技師会学術講演会に参加した
- (6) 令和3年10月1日70周年会員記念品代の支払いを済ませた

【決議事項】

(1)令和3年度新入会員の承認について(資料2)

・新入会名について全会一致にて承認された。

【検討事項】

(1)三重県乳がんネットワークからの寄付金について

・界外会長より、「桑名総合医療センター理事長の竹田先生が三重県乳がんネットワークを解散することになった。財産を県内の乳がん関係の団体に寄付したいという話をいただいた。県技師会が法人として寄付金を受け取り、技師会組織の中に乳腺研修委員会を新たに立ち上げ、精中機構のマンモ講習会のみならず、乳腺エコー研修など幅広く乳腺関係の研修事業する」ことについて提案され承認された。これにより、会員の乳腺検査技術の向上を目指し、ひいては県民の健康増進に寄与することを目的としたいと考えている。

(2) 三重医学研究振興会令和3年度助成金申請について

- ・山田副会長より説明があり、「今年度は対象なし」として承認された。
- (3) 旅費、講師料等支払規程の改定について(資料2)
- ・武藤副会長より説明があり、講師料等支払規程は承認された。旅費規定については当会の会計士にも源泉徴収を確認する。

(4)三重県技師会告示研修の開催について

・第1、2回告示研修は令和4年2月26、27日(土、日)鈴鹿医療科学大学にて開催予定。

- ・近々に告示研修運営会議を開催する。早急に医師、看護師講師を依頼する。
- ・開催日時はJARTへ申請中であり予定である。

【継続審議事項】

- (1) 70 周年記念式典について
- ・令和3年11月7日の式典準備について説明があった。
- (2) 事務所備品の購入について (資料3)
- ・備品の購入案について浅沼業務理事より説明があった。

(3)県技師会委員会制度の運用について

- ・令和4年度よりの運営を目指して委員会WGを始動する。
- ・委員会規程の作成(武藤副会長)
- ・まずは業務改善委員会・乳腺研修委員会を立ち上げる。

(4)技師長会議について

- 年度内に1回目の会議が開催できるよう準備を進める。
- ・規程の作成を森田業務理事に依頼した。

(5)研究発表助成金制度について

・三重県として学会等への演題登録数を増やしレベルの向上を図るべく、研究費の他、研究や発表のサポートを含む事業に助成金を出したいと考えている。原資は、毎年 60 万円支出している会館建設積立金の一部を流用したい。規程の作成を含め、次年度からゆっくり進めていく。担当は丹羽業務理事を中心とした学術担当理事に依頼する。

【その他】

- (1)JARTより診療放射線技師業務実態調査の協力依頼があった
- (2) 第37回日本診療放射線技師学術大会の事前参加登録のお願い
- (3)令和4年度県技師会の年間テーマを募集する。

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長・業務理事報告事項】

(1)広報総括:武藤副会長

・令和 3 年 10 月 28 日三重県診療放射線技師会秋季セミナーの開催予定である。10 月 14 日まで事前参加登録期間である。

(2)学術担当:山田副会長

・第 62 回東海四県学術大会の開催について 2022 年 2 月 6 日、テーマは「心臓」で開催に向けてプログラム準備中である。

(3)学術担当: 丹羽業務理事 (資料 4)

・第5回三重県診療放射線技師学術大会、冬季セミナーの開催について説明があった。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、20時 30分に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和3年10月26日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

令和3年度 第5回 理事会

1 開催日時 令和3年12月23日(木)19時~21時

2 開催場所 Web Zoom

3 出席者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、三好 佳仁、姫子松 博洋、福田 剛史、太田 茂治、四竃 明日香

【監事】中西 左登志、牧 浩昭

【参与】松浦 佳苗

4 進行等

定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 15 名及び監事 2 名の出席を得たので適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

- 5 議事録作成 磯部 好孝
- 6 議事

【会長報告事項】(資料1)

- (1) 県技師会メール配信サービス vol. 121~132 号を配信した
- (2) 令和 3 年 10 月 28 日 Web にて秋季セミナーを開催した
- (3) 令和3年10月29日70周年式典配信確認会議を開催した
- (4) 令和 3 年 11 月 7 日三重県診療放射線技師会創立 70 周年記念式典ならびに JART 共催事業のレント ゲン祭を開催した
- (5) 令和3年11月10日教育小会議・告示研修運営会議を開催した
- (6) 令和3年11月12日第37回日本診療放射線技師学術大会に参加した
- (7)令和3年11月15日鈴鹿医療科学大学、髙木理事長と面談した
- (8) 令和3年11月16日三重大学放射線科 佐久間教授と面談した
- (9) 令和3年11月17日第63回三重県超音波研究会運営委員会に参加した
- (10)令和3年11月18日第1回東海四県学術大会運営会議を開催した
- (11)令和3年11月20日第13回中部放射線医療技術学術大会に参加した
- (12) 令和3年11月22日中日本地域会長会議・教育委員会に参加した
- (13) 令和3年11月28日第5回三重県診療放射線技師学術大会・冬季セミナーを開催した
- (14) 令和3年11月30日鈴鹿医療科学大学看護学部、大西学部長と面談した

【決議事項】

- (1)令和3年度新入会員の承認について(資料2)
- ・新入会1名について全会一致にて承認された。
- (2)表彰委員会から(12月6日、表彰委員会開催)
- ・診療放射線業務功労者の厚生労働大臣表彰推薦

JARTより令和4年7月16日、JART創立75周年記念式典にて厚生労働大臣表彰が授与されることとなり、各県1名の推薦を求められた為、表彰委員会にて検討した結果表彰規程に合致する候補者は界外氏の1名のみであった。候補者として推薦することについて全会一致にて承認された。

・令和5年春の叙勲候補者

叙勲候補の伴野先生が推薦を辞退されたため、委員会にて新しい候補者を表彰委員会で検討した結果、 浅沼業務理事を推薦することに決定したが、浅沼業務理事が辞退された。令和5年春の叙勲候補者は見 送ることになった。

(3)各種規程について(資料3)

- ・武藤副会長より旅費規程の改定、委員会規程の制定について説明があった。全会一致にて承認された。
- ・森田業務理事より寄付金等の取り扱いに関する規程の改定、全会一致にて承認された。
- ・界外会長より組織規定の制定についての説明があり全会一致にて承認された。

森田業務理事より、診療放射線取扱施設代表者会議規定の制定についての説明があったが、検討の余地があり承認には至らなかった。しかし、界外会長が切望している代表者会議(技師長会議)は当規定が制定されていなくても、代表者協議会のような形で開催可能とすることで一致した。

【検討事項】

(1)山中会計士外部監事辞退の申し出について(資料4)

・外部監事を務めていただいている山中会計士より、今年度で外部監事を辞退したいとの申し出があった。次期外部監事に息子の山中悠史氏をご紹介していただいた。理事会では反対意見も無く次期外部監事に山中悠史氏に依頼をする。

(2) 事務所資料のデジタル保存について

・今後、事務所資料をデジタルで保存をしていく。当面は紙とデジタルの両方で保存していく。

(3)令和 4年度総会について

・総会日程は令和4年5月22日(日) 開催方法はWeb、書面決議を想定している。

令和3年12月理事会にて選挙管理委員の選出

令和4年1月中にwebにて選挙管理委員会開催 委員長の選出

令和4年2月18日、選挙管理委員長が理事選挙告示

令和4年3月18日、理事立候補締め切り

会長・副会長・業務理事の選出は互選

[選挙管理委員の承認]

- ・藤川久元氏 (JCHO 四日市羽津医療センター)
- · 久保雅敬氏 (伊勢赤十字病院)
- · 世古充氏 (岡波総合病院)
- 3名の選挙管理委員について全会一致にて承認された。

(4)会費未納による除籍者に対する債権回収業務の委託について

・JARTは令和4年4月1日付、除籍者より債権の回収委託を開始します。委託先は弁護士事務所。

(5)告示研修について

・告示研修スタッフについて看護師講師は2名での運営を想定しており、JARTの承認も得ている。スタッフは慣れてくれば削減することが可能です、今はとにかく慣れない中、なるべくスムーズに運営することが求められている。会員の為、当面の支出が増えることは了承いただきたい。

【継続審議事項】

(1) 事務所備品の購入と廃棄について

・備品の購入、廃棄案について山田副会長より説明があった。

(2)委員会制度の運用について

・次年度より順次立ち上げて運用できるよう委員会で進めていきます。進捗状況は理事会にて随時報告 していきます。

(3)代表者会議(技師長会議)の開催について

・今年度中に1回目を開催できるよう準備を進めます。

(4)研究発表助成金制度について

・丹羽業務理事が規定案を作成中であることを界外会長より報告があった。

【会長報告事項】

(1)令和3年度公衆衛生事業功労者表彰の受賞決定について

三重県医療保健部長を通じ、令和3年度公衆衛生事業功労者に当会が推薦していた岡田和正氏が決定したと通知があった。当会としては4年連続4回目の受賞となる。来年度以降も継続していきたいと考えている。

(2)令和3年度中日本地域会長会議の報告

- · 第 13 回 CCRT 登録者 402 名 三重県登録者 36 名
- ・第14回 CCRT 令和4年11月5、6日 ウィンク愛知にて開催予定
- ・中日本地域診療放射線技師会の設立について

CCRT の契約書は、技術学会中部支部と技師会中日本地域として結んでいるが、中日本地域は名称だけで組織ではない、中日本地域診療放射線技師会を設立することとなった。規約を作成中である。

・次期 JART 中日本地域理事について

山本地域理事が今季限りでの退任の意向を話され次期の地域理事候補を選任することになり、中日本地域会長の全会一致にて界外氏が推薦された。地域理事になるには、地域からの選任と当該地域代議員3 名以上の推薦をつけて立候補する必要ありその準備を進めている。

(3)令和3年度JART全国地域連絡協議会(会長会議)の開催について

・令和 4 年 1 月 22 日 (土) 14 時より Web にて開催、会長が参加をする。

【その他】

(1)JART 九州地域ファシリテーター(FT)講習への FT 派遣について

・山本地域理事からの要請で九州地域 FT 講習に市立四日市病院の高橋 FT が応援に行ってくれることになった。今回は静岡と三重からの応援となった。今後も依頼があればご協力をお願いする。

(2)令和 4 年度事業計画・予算編成について

・2月の理事会にて令和4年度の年間事業計画と予算案を上程するため、各理事より事業や予算について希望があれば早めに会長まで連絡をする。また、令和4年度の年間研修テーマも募集している。

(3)畦元議員の再選お祝いについて

・本人の希望もあり70周年記念式典の記念写真を引き伸ばして額に入れお祝いとして送った。

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長・業務理事報告事項】

(1)副会長:武藤業務理事(資料5)

- ・令和3年10月28日三重県診療放射線技師会秋季セミナーの開催報告があった。
- ・中日本地域教育委員会の報告があった。
- ・委員会設置規定について説明があった。

(2)学術担当: 丹羽業務理事欠席の為、界外会長が代理報告

- ・第5回三重県診療放射線技師学術大会・冬季セミナーの開催報告があった。
- (3) 副会長:山田業務理事(資料6)
- ・令和4年2月6日第62回東海四県診療放射線技師学術大会の開催について説明があった。

(4)会計担当:森田業務理事(資料7)

・講師料支払い処理の流れについて説明があった。

【界外会長より連盟報告】

先日、畦元議員よりメールあり、12月3日に国会での役職が発表されたとのことでした。 〈衆議院常任委員会〉

- · 厚生労働委員会委員
- 環境委員会委員

〈衆議院特別委員会〉

- · 科学技術委員会委員
- · 原子力委員会委員

〈自民党〉

- 国会対策委員
- ·厚生関係団体委員会 副委員長
- ·環境関係団体委員会 副委員長

〈議員連盟〉

- ・新型コロナウイルス医療系議員団 事務局長
- ・国民の医療を守る議員の会 事務局次長
- ・ラジエーション議員連盟 事務局長

(年内発足 会長は田村前厚労大臣 顧問に岸田総理)

- ・診療放射線技師会懇話会を議員連盟に昇格させる件も進めている
- ○畦元議員付自民党員党費(令和3年分)の支払いをお願いします。 リストは後日送信しますので、理事施設の方々にはお伝えください。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21時に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和3年12月23日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

令和3年度 第6回 理事会

- 1 開催日時 令和4年2月1日(火)15時発議-令和4年2月2日(水)17時審議終了
- 2 配信者 三重県診療放射線技師会 会長 界外 忠之
- 3 回答者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳 磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、山本 房嗣 後藤 末成、三好 佳仁、姫子松 博洋、福田 剛史、太田 茂治、四竃 明日香
- 4 議事録作成 磯部 好孝

【決議事項】

・令和4年2月26、27日開催予定の第1回、第2回告示研修(実技研修)を中止することについての可否について理事会の決議を求める。

【採決期間】

・令和4年2月1日15時発議より令和4年2月2日17時発信までなお、この間に投票が無かった者については異議がないものとみなし賛成とする。

【審議結果】

当該提案につき議決権を有する理事全員から電磁的記録により賛成多数にて同意を得たので、定款 32 条に基づき、当該提案を可決とする理事会の決議があったものとみなす。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和4年2月2日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

□ 編集後記

出勤時刻が早いので冬は真っ暗闇に向かって出発するのですが、日に日に 明るくなってきました。

今年は指なし手袋の指先が痛い程冷たい寒い日が多いですが、春が少しず つ近づいてきているのを感じます。

今回の会誌も大半が議事録で寂しいページになってしまいました。 寒さと共にCOVID-19も姿を消して欲しいものです。

三重県診療放射線技師会 295号 Vol.72 No.2

発行日 2022年2月25日

発行所 〒514-0032 三重県津市中央2-4 三重ビル 502号

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

TEL/FAX 059-225-1491

ホームページ: https://mieart.jp

facebookページ: https://facebook.com/mieprefart

E-mail: contact@mieart.jp

発行人 界外 忠之

制作三重県診療放射線技師会編集班